

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾ゆうゆう津山

公表日

2026年 1月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・仕切りを置くことでスペースを分けている。	全体を見ながらスペースの使い方を考えていく必要がある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	・利用人数によってシフトを決めているため、適切な人員配置を行っている。	個別で支援が必要な児童が重なる曜日は職員が足りないと感じる場面あり。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・入口からできるだけ段差がないように工夫している。	天井が高い施設の為、どうしても声が響きやすい環境になっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・運動ルームは不要なものがなく、安全に体を動かせるようにしている。 ・公文ルームも個室になっており、集中して取り組むことができる。	今後も使いやすい環境を作っていくように心がけていく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・公文ルームや運動ルームを時と場合によってクールダウンの部屋として利用している。	安心して過ごせる個別の環境作りをこれからも行っていく。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・日々、支援目標を立て、実施後、振り返りを行っている。	今後も個人の特性に応じた目標設定、それに伴った支援、振り返りを行っていく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者様から頂いたご意見を把握し、改善に努めるようにしている。	今後も保護者の方のご意見を伺い、よりよい支援を行えるように努めていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・個別ミーティングを行い、必要な事柄を全スタッフに共有し、改善していくようにしている。	今後も定期的に全職員の意見を把握し、業務改善を行っていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	・現時点では、外部評価は行われていない。	今後、第三者の方等にご指摘された場合は業務改善を行うよう努めていく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・定期的にさまざまな内容の社内研修を受講している。	今後も研修等の内容を全職員が周知、スキル向上に努めていく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・アセスメントを行い、個々に応じたプログラムを作成している。	保護者の方にわかりやすい支援プログラム作成に努めていく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・半年ごとのモニタリングに加え、送迎時などに保護者様からお話を聞き、計画作成に繋げている。	今後も丁寧なアセスメントを行い、ニーズや課題に沿った個別支援計画書を作成していくことに努める。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・朝礼やミーティングなどで個々の事例について検討、意見を出し合っている。	管理責任者以外の職員がもっと計画書に携わり、意見を出し合える場を増やしていきたい。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	・個別支援計画書作成後、職員各々が確認し、計画に沿って支援を行っている。	職員全員への周知徹底は行っているが、まだ改善の余地は残っている。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・子どもたちとのやりとりや振り返りなどで知り得た情報について時系列で書き出し、ファイリングしている。	今後は子ども達の状況に応じてアセスメント方法を整理し、支援内容の検証や個別支援計画への反映を行っていく。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・モニタリングや面談を通して、子ども達一人ひとりの特性や課題に応じた支援項目の設定を行っている。	今まで以上にアセスメントに基づいた支援内容を明確化し、職員間の共有を行いながらよりわかりやすい支援計画の作成に努める。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	0	0	・指導員ミーティングを行い、意見を出し合っている。	今後も職員各々が意見や改善点を出し合いながら、企画していく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・各曜日を担当を交代し、話し合いながら内容が重ならないように工夫している。	自事業所では取り組めない活動内容なども他施設と交流しながら取り組んでいきたい。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・個別活動に必要な道具などを日々考え、作成することで以前に比べ充実している。	職員の配置がギリギリの日は、送迎等もあり、個別活動までの時間を取ることが難しい。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・毎日必ず、担当者より今日の流れ、活動の目的や個別対応が必要な児童への配慮など連携していくための時間設けることでスムーズに活動に取り組んでいる。	パート職員にも支援内容や役割分担を共有できる時間を確保したい。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	4	・支援後は送迎などがあるため、翌日朝礼で気づいた点などを出し合い、共有している。	パート職員との振り返りの時間が支援前後で取ることが難しいため、課題となる。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・ケースやヒヤリハットなどに記録し、情報共有を行いつながりながら改善を行っている。	記録の活用を明確にし、定期的に振り返りを行いながら支援の検証・改善を行っていく。
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・半年に一度モニタリングを行い、ニーズや課題を分析し、計画の見直しを行っている。	今後もニーズに沿った支援が行えるように定期的に計画の見直しを行っていく。	
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	7	0	・日々、さまざまな活動を組み合わせた支援を行っている。	今後も支援内容を見直しながら子どもたちがさまざまな経験を積めるよう活動を充実していく。	
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	・日々の支援の中で特性に応じた支援を行うことができるように工夫している。	集団での活動が中心のため、自己選択できる活動が少ない。今後は選択肢の拡充を目指したい。	
26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	・児童発達支援管理責任者を主として、日々の記録を元に子ども達の様子を共有していくようにしている。	管理者や児童発達支援管理責任者以外には会議に参加する機会がないため、内容の把握が難しい。今後は情報共有の方法を工夫し、全職員が理解できる体制を整えていきたい。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・学校や保育園、障害福祉などの機関と情報共有を行いつながり、日々の支援を行っている。	現時点では保健、医療機関との連携はないが、今後はさまざまな機関とも連携を図ることでより良い支援を行っていきたい。

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	・学校等には送迎で遅れる場合にはあらかじめ連絡を入れることを徹底し、送迎表を作る際に下校時刻が不明の場合、各学校に予定表を頂けるようお願いしている。	月の途中で変更があった場合や一部の学年の下校時刻変更など、事業所まで連絡が入らないこともあるため、学校の方へ情報共有をお願いする必要がある。今後も都度確認を行い、円滑な情報連携につなげていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	・児童発達支援事業所とは相談員の元、移行会議などを行い、情報を共有し、相互理解に努めている。	こども園や保育園などの情報は現在、相談員からのみとなっているため、今後は職員全体で積極的に情報を共有していきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	・相談員の方に口頭でお伝えし、情報共有を行っている。	直接、支援内容等の情報提供を行うことはできていないため、放デイへの移行会議同様、障害福祉への移行会議にも積極的に参加していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4	・地域との交流は意欲的に行っていくように努めている。	発達支援センターとの連携機会はないが、スーパーバイザーなどから助言を受けた際には改善に努めていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	・地域の子も達との交流が図られるよう、関係各所への連絡を行っている	児童クラブとの交流も、積極的に行える仕組みを今後整えていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	・参加している。	管理者以外は参加できていないため、管理者以外も参加できるようにしていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・コドモンや送迎時に子ども達の様子をお伝えし、保護者と課題などについて話しをする時間を設けている。	特定の職員のみが対応している状況があるため、全職員が共通理解がもてるようにしていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	・子ども達についての情報提供は日頃行うことはできている。	家族が参加できる研修や支援プログラムの実施はできていないため、今後そういった機会を設定し、家族対応力向上のための情報提供を行える場を作っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約の際に丁寧にご説明させて頂いている。	より一層わかりやすい説明が行えるよう努めていきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・子ども達は支援時間に時間を作り、本人の意向を聞き、保護者の方にはモニタリングや送迎時等で聞き取りをさせて頂きながら意向を確認している。	子ども達の意向を確認する時間をもう少し多く取ってきたい。そのことにより子ども達の意思尊重に繋げていけるよう努める。
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・送迎時やなどでサービス計画を職員と確認し、説明を行ったのち、納得を頂いたらサインを書いてもらうようお願いしている。	支援内容が子ども達や保護者の方のニーズに沿ったものであるか日々振り返りを行っていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・相談があった際には、電話や送迎時などで面談を行いながら必要な助言・支援を行っている。	面談の場を今以上に取り、ご家族の悩みにより一層寄り添える環境を作っていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・保護者同士での交流や意見交換は、好評だった。定期的にさまざまな形で保護者会を開催している。	きょうだい同士での交流については現在まではできていないため、今後はその機会を設けられるように計画していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・苦情等があった際には迅速に対応を行っている。必要に応じて相談員の方への連絡や今後の対応について相談している。	全職員が苦情について周知できるように体制を整え、より迅速かつ適切に対応していくよう努める。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・夢通信などのお便りやコドモンなどを通じて、保護者の方へ活動内容や行事予定・内容等を発信し、お知らせしている。	子ども達にもわかりやすく情報が発信できるような工夫を行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・個人情報保護法を職員一同遵守し、マニュアルに沿って適切に保護・管理している。	今後とも適切に管理・保護を行っていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・必要に応じて視覚支援やジェスチャーを通してやり取りを行うなどの配慮を行っている。	今後は、マカトンサインなども使って意思の表出がよりしやすい環境を作っていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	・近隣のごみ拾いなどを行いながら、地域の方へ事業所を知ってもらうように努めている。	地域住民を招待するなどの機会はないが、今後も地域に開かれた事業所を作っていく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・保護者の方には、それぞれの対応マニュアルがあることを契約時に説明を行っている。また、職員それぞれがマニュアルを確認し、マニュアルに沿って行動できるようにしている。	緊急事態発生時等、マニュアルに沿って迅速に対応できるように努めていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・年2回避難訓練を実施している。防災センターなどに出向き、災害発生に備え、避難の方法や必要な事柄を学ぶ機会を設けている。	今後も子ども達、職員一同、防災意識を高められるよう努めていく。
非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・発作がある児童に関しては保護者より情報提供、薬の預かりを行い、職員一同が内容を周知するようにしている。	予防接種の状況確認はできていない。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・食物アレルギーについての情報を保護者より提供してもらい、食事場所を分けるなどの対応を行っている。	今後も情報共有、職員への周知徹底を行っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・日々安全確認を行い、危険な場所があれば、必要な措置を講じている。・必要な研修・訓練も行っている。	今後も安全管理に努め、安心して過ごせる環境設定を行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・契約時に保護者の方へ丁寧説明を行っている。	今後もしっかりと周知して頂けるようわかりやすい説明を行うよう努めていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・細かい事例もあげ、対応方法を事業所内で共有し、再発防止を行っている。	今後も職員全体で情報を共有し、再発防止に努めていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・全職員が事業所内外の研修に参加し、適切に対応している。	今後も職員全体で共通認識を行い、虐待防止を徹底していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・契約時に身体拘束が必要な場合についての説明を行っている。・現時点では身体拘束が必要なケースはない。	必要な場合には丁寧な説明と了承を得ることを遵守していく。
	保護者様評価、自己評価についてまとめ					

今年度は、保護者会として親子クッキングを美作大学さんのご協力の元、行いました。家族が参加できる場がもう少し増えてほしいというご意見をいただきました。ご意見を参考に、保護者の皆様に参加しやすく、繋がりを深め、情報共有ができるような場を今後も設けて参ります。また、活動内容に工夫を凝らし、事業所内外でさまざまな方たちとの交流を深めながら社会性を上げられるような取り組みを企画していきます。今後も職員の資質向上に努め、ご利用者様に寄り添い、ニーズに沿った質の高い支援を行い、安心・安全な環境作りを努めます。